

ほほせいふう

歩々清風

—日本画家 上村松園・松篁・淳之三代の歩み—



①

2022年

3月21日

月・祝

6月12日

日

【休館日】月曜日(但し、3月21日・月・祝は開館)

【開館時間】10時〜17時(入館は16時まで)

【入館料】大人〔高校生・大学生を含む〕820円(730円)／小・中学生410円(360円)

※(内は前売り料金。前売り券は近鉄駅営業所、JTB H.P.で販売中。詳しくはホームページをご覧ください。)

【主催】公益財団法人 松伯美術館

①上村松園「花見」明治43(1910)年 ②上村松園「新蚕」昭和7(1932)年 ③上村松篁「青柿」昭和22(1947)年
④上村松園「春宵(下絵)」昭和11(1936)年 ⑤上村淳之「春宵」平成21(2009)年 題字／上村淳之

松伯美術館

SHOUHAKU ART MUSEUM



②



③



④



⑤

歩々清風

—日本画家 上村松園・松篁・淳之三代の歩み—

明治から令和まで続く、上村松園・松篁・淳之と三代にわたる日本画家の画業を辿ると、激動の時代の中であつても、一人の作家として貫いた絵画世界からは、時代を超えて今なお強いメッセージが感じられます。

上村松篁(1902-2001)は少年時代に「道」というものは生命より尊いものだ」という言葉から、自分にとつての一筋の道は絵の道だと心に決め花鳥画家を志し、制作を続けてきました。一方で自分の歩いてきた道は正しい道だったのか、思い悩みます。しかし八十をすぎた頃、ある禪の老師から「道を歩くときは『歩々清風』の歩き方でなくてはならない」という言葉に、自分の道は少なくとも濁風は吹いていなかった、と初めて自信がわいてきたと語っています。

時代に流されることなく普遍の美を追求し、独自に歩々清風の道を歩み続けた三代の画業を展覧します。



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪

松伯美術館

SHOUHAKU ART MUSEUM

〒631-0004 奈良市登美ヶ丘2丁目1番4号 Tel.0742-41-6666

【交通】近鉄奈良線「学園前駅」北口バスターミナル⑤・⑥番のりばよりバス約5分、「大淵橋(松伯美術館前)」下車、大淵橋を渡った右側。※駐車台数に限りがあるため、できるだけ電車・バスでお越しください。



公式HP

松伯美術館 検索

松伯美術館「友の会」会員募集中!

無料入館ほか様々な特典をご用意、皆さまのご入会をお待ちしております。



次回展覧会

2022年
6月21日(火)―8月28日(日)

熱帯への旅
—極彩色の楽園を求めて—
上村松篁展